

令和元年度秋田県青少年健全育成審議会全体会 会議録

日時 令和元年 7 月 16 日（火）午前 9 時 30 分～午前 10 時 20 分

場所 秋田県議会棟特別会議室

1 出席者

○ 秋田県青少年健全育成審議会委員（敬称略、五十音順）12名

| | |
|---------|--------------------------------|
| 阿 部 弘 道 | 秋田魁新報社整理部長 |
| 石 川 信 | 秋田県書店商業組合 監査役 |
| 石 黒 泰 成 | 秋田少年鑑別所 所長 |
| 金 田 早 苗 | 学校法人聖霊学園 理事 |
| 熊 谷 隆 益 | 公益社団法人青少年育成秋田県民会議会長 |
| 熊 谷 真 | 秋田県小学校長会 秋田市立豊岩小学校 |
| 熊 谷 嘉 隆 | 国際教養大学 教授 |
| 後 藤 武 之 | 秋田県高等学校長協会 秋田県立五城目高等学校長 |
| 齋 藤 和 彦 | 秋田県青少年団体連絡協議会 会長 |
| 高 橋 恭 子 | 秋田県警察本部生活安全部少年女性安全課少年サポート係長 |
| 濱 田 純 | 秋田大学客員教授・秋田大学北秋田分校長 |
| 皆 川 雪 子 | 秋田県 P T A 連合会 秋田北中学校 P T A 副会長 |

○ 事務局

| | |
|--------------|---------|
| あきた未来創造部長 | 湯 元 巖 |
| 次世代・女性活躍支援課長 | 水 澤 里 利 |
| 同課主幹（兼）班長 | 新 号 和 政 |
| 同課副主幹 | 高 橋 寿 樹 |
| 同課主査 | 鈴 木 智 子 |
| 同課主事 | 本 郷 康 之 |

| 進 行 | 内 容 |
|-------|-----------------------|
| 事 務 局 | 1 開会 |
| 部 長 | 2 あきた未来創造部長あいさつ |
| 事 務 局 | 3 委員の紹介（名簿の読み上げにより紹介） |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | 4 事務局紹介（名簿の読み上げにより紹介） |
| 事務局 | 5 審議会の概要説明（資料3、4、5の読み上げにより説明） |
| 会長 | <p>6 環境浄化部会委員指名</p> <p>私の方から、委員を指名の前に一言あいさつさせていただきたいと思います。</p> <p>本学なんですけども、毎年175名の若者が全国から集まってきていて、8割が、秋田県外からきます。</p> <p>15年ほど本学にお世話になっていますが、色々な学生を見るたびに、お国柄っていうのをすごい感じます。</p> <p>北海道から沖縄まで学生が来るんですけども、それぞれの風土で育った空気というか文化というか習慣を皆さん持ってくるんですが、その中で秋田県から本学へ来る学生が約2割います。</p> <p>よく言われることなのですが、首都圏から来る学生さんは、とてもシャキシャキしてるというか、要領がいいというか、目立ちます。</p> <p>本学に入ってくる秋田県の学生は、最初はとてもシャイで、引っ込み思案で、おとなしいかなという印象があります。4年、4年半、5年とたつと、秋田の子どもたちの伸びしろっていうのがとても大きくなっていうのを15年感じてきました。要は、おっとりしているんだけども気持ちはしっかりしていて、家庭のしつけというものも、しっかりしていて、そういったものが多分基盤にあって、その伸びしろに繋がってるのかなと思っております。</p> <p>先ほど湯元部長からお話ありましたように、本県は人口が減り続けておりまして、青少年の数が減っていくんですが、その部分をしっかり我々大人が育てていく責任があるんだろうと思います。</p> <p>これからも秋田を、日本を、世界を背負って立つのは、今まさに、我々が目にしている子どもたちでございます。</p> <p>我々は深い責任をもって、我々が模範となりつつ次世代を育てていかなくちゃいけないんだろうと思います。</p> <p>そういった背景事情から、本審議会が位置付けられてると思いますので、皆さんの活発なご意見の方よろしくお願いいたします。</p> |

| | |
|-------|---|
| | <p>それでは次第の（５）環境浄化部会委員の指名についてです。</p> <p>今回の会議から、新たに３名の委員に出席いただいております。</p> <p>新委員３名のそれぞれの前任者の方には、環境浄化部会委員を務めていただいておりますので、新委員の石黒委員、熊谷隆益委員、後藤委員にも、部会委員をお引き受けいただきたいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>～承諾の声あり～</p> <p>それでは、ご承諾いただきましたので、条例第23条の２第２項の規定により、３名の方を環境浄化部会の委員として指名いたします。よろしくお願いします。</p> <p>なお、同部会の委員数は、３名が加わったことにより、部会長の濱田委員、部会長代理の石川委員をはじめ11名となりますので、どうかよろしくお願いします。</p> |
| | <p>７ 審議（秋田県青少年健全育成審議会運営要綱改正案）</p> |
| 会 長 | <p>次に、次第の「(6) 審議」に入ります。</p> <p>本日の議案は、「秋田県青少年健全育成審議会運営要綱の一部改正について」です。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p> |
| 事 務 局 | <p>資料６、６－２、６－３の読み上げにより説明</p> |
| 会 長 | <p>事務局から、審議会運営要綱の一部改正について説明がありましたが、これについて御質問、御意見等はございますでしょうか。</p> |
| 濱田委員 | <p>手続き上、こういうふうにしたほうがいいなって事案があったんでしょいか。</p> |
| 事 務 局 | <p>これまでと特に変わりはないのですが、他の審議会の例にならいました、関係規定を改めて、整備して明確にしようとしたところです。</p> |
| 濱田委員 | <p>はっきりさせたということですね。</p> <p>わかりました。</p> |

| | |
|-------|--|
| 会 長 | <p>抽象的な内容だったのをきちんと整備していただいたと思います。 ほかにみなさん、いかがでしょう。 よろしいですか。 ～異議なしの声あり～ それでは、これで決議に入りたいと思います。 この要綱一部改正については、承認していただいたということで示させていただきます。 さきほど事務局から説明ありましたが、この要綱の一部改正は本日直ちに施行することとします。</p> |
| | 8 報告 |
| 会 長 | <p>それでは、次に次第の「(7) 報告等」に入ります。 「①優良図書の推奨・有害図書の指定について」事務局より報告をお願いします。</p> |
| 事 務 局 | 資料7の読み上げにより説明 |
| 会 長 | これにつきましてはこの後の部会で審議するということで、ここは報告ということだと思います。 |
| | 9 報告「第2次あきた子ども・若者プラン」の取組状況等の報告 |
| 会 長 | 次に、『第2次あきた子ども・若者プラン』の取組状況等について報告をお願いします。 |
| 事 務 局 | 資料9－1、9－2、9－3の読み上げにより説明 |
| 会 長 | 事務局からプランの概要、実績そして今年度の事業について説明をしていただきました。非常に興味深い内容が散見されますが、みなさんどうでしょう。御質問・御意見等はございますでしょうか。 |
| 部 長 | 今資料9－2の部分で、目標と実績という部分を、担当の方から説明 |

させていただきました。

全体の所感について、まとめとして本プラン施策は概ね順調に推進しているという表現させていただきましたけど、実は行政評価の見直しを県でやっておりまして、この8割越えが大体、順調にという表現を今改めている最中でしたので、私から総論といたしまして、指標の達成状況につきましては、達成率80%を超えるものがありますが、未達成のものも多数あることから、一部、着実に進められているものの、さらに目標達成に向けて進めていく必要があるという所感にさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

会 長

はい、わかりました。私もちょっと実は、最初のコメントを聞いていて、同じように感じていたので、今の部長の話がより現状を正確に反映してるんだろうと思います。
皆さんどうでしょう、御自由に御質問、御意見をよろしくお願いいたします。

濱田委員

今のことに関連していますが、先ほどやはり事務局の方では80%以上については、概ね順調に推移しているという、説明があったんですが湯元部長さんの方からもコメントありました。

各市町村もやってるんですけど、新聞報道があったときに、一般の住民市民は、何を持って良しとするかっていうことがよくわからないんですよ。

100になればいいのか、80でいいものか、或いは60はどうなのかっていう、そういう基準っていうのは今まで、やはり私たち市民にしてみるとわかりにくい内容になっていましたので、ぜひそのところは積極的にわかりやすいような、おおむね達成してるとか、順調に推移してるとかそういった表現というのは私はいいな、というふうに感じておりました。

部 長

ありがとうございます。

ここでは行政評価の内容を具体的に議論するつもりはございませんけども、いわゆる評価一般的に言いますと、定量的な数値目標の達成状況何割達成という部分と、なかなか数量的に表せない定性的な、ここは努力しているな、ここは本気だなという部分、さらには、数値目標を達成していないけど前の年、その前の年からも、推進の幅、角度が緩くなっ

た、もしくはよくなったっていうような、伸び率下げ率というものをよく評価するわけでありますけど、今ご意見いただきましたように県民の方々との、いわゆる一般的な認識の齟齬がないように、8割達成であっても2割は達成していないっていうところをどう評価するっていうのもありますので、今、企画振興部でその辺見直しやってまして、県議会でも、御提言いただきまして、その辺を踏まえながら、できるだけわかりやすく伝えていきたいなというふうに思っております。

会 長 よろしいですか。

実績に関しましてはその数値目標と実績というA4の1枚もので出てきてますけども、これのコンパクトなサマリーというかそういったものはいずれ出てくるんでしょうか。

私の言わんとするところは、多分これ県民の皆さん、こういったものに、そんなに触れる機会はないかと、これ見てもそんなに理解しづらいのかなという気がしますので、わかりやすく、こういう目標立ててこういう状況なんですというものがあればよろしいかなと思うんですか。いかがでしょうか。

事 務 局 公表するにあたって、その辺検討して対応したいと思います。
現時点では、準備できていませんでした。

会 長 検討をよろしくお願いいたします。
他の皆さんどうですか。

皆川委員 数値の満足度で現れている満足度とその現場の県民のそれぞれの生活の中での満足度っていうのが相違がないようにっていうふうになっておっしゃってましたけども、その現場の満足感っていうのをどういう指標でとらえていくのか、教えてください。

部 長 いわゆる県民意識調査というのを、県民4000人の方々を対象に毎年調査させてもらってます。回収率は5割ちょっとしかないんですけど。
その中の様々な分野、テーマを決めながら、県民の動向も見据えてやっております。それと地域の懇談会みたいなものも知事に直接やってもらってますし、生の声を振興局も含めて聞きながらそれを取り込みなが

| | |
|------|---|
| | <p>ら、それから県民意識調査を反映しながら、そういうのを見て、できるだけ、県民の意見を取り入れた評価に結びつけたいというふうにして、実施しているところです。</p> |
| 会 長 | <p>よろしいですか。</p> <p>他いかがでしょう。</p> <p>ちなみに、乳幼児期から学童期、五つの区分があってそれぞれ項目があるんですが、この項目自体っていうのは、状況に合わせて、数年おきに、見直したりするものですか。</p> |
| 課 長 | <p>ご指摘のとおりで、今現在のプランは、平成28年度から32年度までの五年間の取組・施策でありますので、令和3年度からの新たなプランを策定する際に、御指摘の内容を含めて見直し予定でございます。</p> |
| 会 長 | <p>他にいかがでしょう。</p> |
| 阿部委員 | <p>この達成率の表なんですけども、乳幼児期の合計特殊出生率、出生数を見ると、やっぱり非常に厳しいなっていう印象受けるんですけども、達成目標年度は来年度なんですけど、現時点で何か新たな対策等あれば教えていただきたいと思います。</p> |
| 部 長 | <p>人口減少対策をやってる当部といたしまして、この案件がとても難しいわけございまして、出生数、合計特殊出生率、いわゆる、全国的なデータを見てもなかなか伸びないっていうのが今の現状であって、その中で、出生数、今は5040になってます。</p> <p>目標は昔は8000から6000と段々下がってきています。</p> <p>今非常に大きな問題の一つが、女性の県外への流出、県外へ出て行ってしまうっていう、それから、未婚化、晩婚化、結婚しなくてもいいというふうな感覚があって、自立した方々が県外へ出ていってしまう。</p> <p>それから、子供を産む方々の大半が当然結婚するという前提の中で、結婚数がイコール子どもを増やすことに繋がる。</p> <p>いかに結婚していただくかという部分、結婚した方々が2人目、3人目の多子化に向けてどうがんばってもらうか。</p> <p>結婚するそのものが、先ほど言いましたように秋田県の中の女性の方</p> |

が、今、結婚するという意識がなかなか伸びていないという、未婚化晩婚化が進んでいるのはすごく大きな要因の一つであろうっていうことであります。

それから、多子化の三子以降は今伸びてきてるわけでありますけども、どうしても1人目、2人目の数が増えないということでありますので、ここをどうしようかと。

一つは、やっぱり女性の方々、それから地域でも結婚しよう、子どもを育てようという雰囲気づくりはなかなか厳しいようですので、そういったことを踏まえて、地域或いは企業、それから当事者を含めて、そういう機運の盛り上がりをやっていこうというのが一つの取組であります。

それから、今年の10月から無償化に向かう子育て支援に対する様々な助成というものも、県単独によるもので、拡充しようということで今進めておりますので、そういった機運の醸成、それから地域の受け皿、さらには、財政、経済的な支援というものを、さらに踏み込んでやろうということで進めております。

会 長

はい、わかりました。

これは、そうそう簡単に、これという解決はない問題で、どこの先進国も、この問題には遭遇してる。そういった意味で、総合的に努力しなくてはならない。

他いかがでしょう。

それでは、いろんなコメント質問いただきました。

その達成目標の、理解の仕方というのでしょうか、現状把握の仕方をもう少ししっかりやるべきであろう、また、これの情報発信の仕方を工夫すべきであろう等の意見を踏まえて、事務局の方で取組の評価をしていただければと思います。

それでは、その他の方に入りたいと思いますが、何か事務局の方から報告等ございますか。

ないようですので、報告、審議全て終わりましたので進行を事務局に

| | |
|-------|--|
| 事 務 局 | お返しします。 |
| | 10 事務連絡 |
| | <p>審議等、ありがとうございました。</p> <p>事務局から連絡が2つあります。1つめは、環境浄化部会委員の皆様は、この後休憩を挟みまして、引き続きこの場で部会審議を行います。10時30分から開会いたしますので、お時間になりましたら御着席をお願いします。</p> <p>2つめは、本年度中の全体会の開催についてです。全体会の本年度中の次回開催は、現在のところ予定しておりません。</p> <p>重要事項の審議があれば、御連絡いたしますので、御承知ください。連絡事項は以上です。</p> |
| 事 務 局 | 11 全体会閉会 |
| | <p>これを持ちまして令和元年度年秋田県青少年健全育成審議会全体会を終わります。ありがとうございました。</p> |